

分野	科目名		配当年次	開講期	
専門分野	母性看護学概論		2年次	前期	
単位数	時間	担当教員		実務経験の有無	
1単位 (30時間)	30時間	大島ゆかり 専任教員		有	
授業の概要	母性の概念と母性看護の対象を理解し、生涯に渡り健康的な生活を送るための看護について学ぶ。				
	到達目標 1. 母性の基盤となる概念について理解できる。 2. 母性看護の対象の身体的・心理的・社会的特徴を理解できる。 3. 母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状を理解できる。 4. 女性のライフサイクル各期の特徴と健康課題を理解できる。 5. 母性看護における倫理を考えることができる。				
授業計画	No.	授業内容	授業方法	備考	
	1	母性の基盤となる概念①：母性・父性・親性	講義		
	2	母性の基盤となる概念②：母子相互作用・愛着形成	講義		
	3	母性看護の対象および特徴①：男性・女性生殖器系の構造、機能	講義		
	4	母性看護の対象および特徴②：ヒトの発生、性分化のメカニズム	講義		
	5	母性看護の対象および特徴③：性周期（初経、月経）	講義	口頭試問	
	6	母性看護の対象および特徴④：セクシュアリティ・性の多様性	講義		
	7	母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状① 母子保健統計の対象と定義 日本の母子保健統計の動向と課題	講義		
	8	母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状② 関連する組織、法律、施策の概要 現代女性のライフコースの特徴	講義		
	9	女性のライフサイクル各期の身体的・心理的・社会的特徴、各期の健康課題	講義		
	10	リプロダクティ・ブヘルス/ライツの概念 リプロダクティブヘルスケア	講義		
	11 ～ 14	リプロダクティブヘルスケアについてグループワーク 思春期：性教育（避妊、人工妊娠中絶） 成熟期：月経困難症、月経前緊張症、 性感染症とHIV感染、喫煙女性の健康、性暴力 更年期・老年期：更年期障害、子宮脱、膣炎	グループワーク	発表2時間	
	15	母性看護における倫理	GW	DVD視聴	
	評価	1. レポート：10点 女子：基礎体温を3ヶ月測定し、課題について考察する。 男子：女子の性周期について考察する。 2. 筆記試験：90点 合計100点 60点以上を履修とする。			
	参考文献	1. クラウス・ケネル（竹内徹 訳）：親と子のきずな. 医学書院. 1985 2. 新道幸恵・和田サヨ子：母性の心理社会的側面と看護ケア. 医学書院. 1990			
備考					